

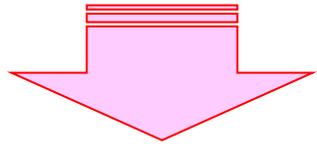
海洋教育に関する 国土交通省の取組み

国土交通省海事局 海洋教育・海事振興企画室
令和 7 年 6 月

四方を海に囲まれ、エネルギー資源を海外に依存している我が国において海事産業は

- ・ 社会経済の発展と国民の生活の安定を図る基盤
- ・ 海事産業が集積している地域の経済と雇用を支える重要な産業
- ・ 海洋資源・エネルギーの開発は、将来の日本を支える成長分野

我が国の海洋国家としての維持成長や海事産業の国際競争力の強化のためには、国民、特に若年層の海洋や海事産業への関心や親近感の喚起が重要



**国民の目に触れる機会が少ない海洋や海事産業に
目を向けてもらい、理解増進を図る**

次世代を担う子どもや若者を中心とした国民に対する海洋・海事への理解と関心の喚起

小中高校における海洋教育（海事教育）の推進
海や船に触れる機会の創出と、海洋・海事に関する情報発信



海洋教育プログラム

海洋教育プログラム（教員の学習指導案の例）の作成

【社会科指導案】海事教育を授業に導入する際の指導方法の提案

【副教材資料の活用】授業で活用する資料を選択する際の参考

【社会科以外の科目等での活用】他教科での海洋教育を提案

複数の学校において試行授業を実施し、効果測定及び改善を図った。



海洋教育実施の支援体制整備・成果物の普及による効果的な海洋教育の実施

➡ 児童・生徒・教員・保護者に海洋や海事産業への理解増進を図る

海洋教育プログラムの普及

- ・作成した海洋教育プログラムを海事局HPで公開中
海洋教育カリキュラム・マネジメント例
- ・小中学校の学習指導案の例を作成し海事局HPで公開中
小学校5年生社会科4種類、6年生社会科2種類、中学校地理的分野3種類
- ・海洋教育プログラムを用いた試行授業動画を海事局HPで公開中
小学校5年生社会科5授業、中学校地理的分野4授業
- ・小・中学生教育者向け海洋教育PR資料の配布
令和7年度小学校及び中学校各教科等担当指導主事連絡・研究協議会
(文部科学省)にて配布

PR資料より

社会科における海洋教育の推進 海事産業の重要性を伝える授業動画

- ・ 海洋を舞台に展開された産業において、海運や造船、漁業などの海事産業は、私たちの暮らしや経済を支える不可欠な存在です。しかし、我が国の「貿易量の99.6%、国内産品の約5割」は海の輸送が担っています。
- ・ さらに、海事産業は、人の命や財産を守る大切な役割も果たしています。また、一人ひとりが海の恵み、海運や海事産業の大切さを学び、その重要性を認識することは大切です。
- ・ また、「海上輸送」「造船」「漁業」などの海事産業に関して、小・中学校学習指導要領(平成27年)を基幹として編纂された、学校教育の学習内容として明確に位置づけられました。
- ・ そこで、学校へ4年制海事産業の重要性を伝えるためのA4サイズ版を制作しました。



HPで公開中の学習指導案の例より

海洋教育授業動画の作成（令和3年度～）

【めざせ！ ぼくもわたしも船博士】（7分程度×3種類） 「海ココちゃんねる」で公開中

日本の食料輸入を支える「海上輸送のなぞ」をさぐれ！

日本の貿易を支える「船や港の役割と働く人のなぞ」をさぐれ！

自動車運搬船などをつくる「造船所のなぞ」をさぐれ！

令和4年度に上記動画のPR動画（YouTube版、SNS版）を制作し公開中

↓ オンライン授業ビデオを海洋教育に活用 ↓



海洋教育授業動画より

小学生を対象として海運、船員、造船分野の普段は見られない仕事の様子等を提示
⇒ 児童、教員、保護者の海洋や海事産業への興味・関心を高める

就職段階

(水産系高校生、若年自衛官、その他就職段階)

海事産業への就職志望者を増加させる取組

選択基準としての
勤労観・職業観の確立



就業体験
(インターンシップ)



企業説明会・就職面接会



保護者や教員に対する説明会

進路段階 (一般高校生、中学生)

キャリア教育に資する取組

興味・関心に基づく
勤労観・職業観の形成



出前講座



オープンスクール

理解醸成段階 (小学生高学年)

**海や海事産業への気付き、
理解を促す取組み**

海や海事産業に興味・
関心を持つ機会の創出



海事施設見学会・体験乗船



若年層の段階に応じた取組み

若年層の段階に応じた取組み

海事産業に対する理解促進(各種理解促進の機会提供)

普段接する機会の少ない海運、造船等の海事産業や船員の職業に関する出前講座や施設見学等を通して、児童・生徒に体験型学習の場を提供するとともに、教員、保護者には、児童・生徒への海洋教育実施のための理解促進を図る。



業界見学会

進路段階 (主に高校生以上)

海事産業への進路の選択を促す取組
海の仕事に興味を持つ生徒の増加

理解醸成段階 (主に小・中学生)

海や海事産業への気付き、理解を促す取組
海に興味を持つ児童・生徒の増加

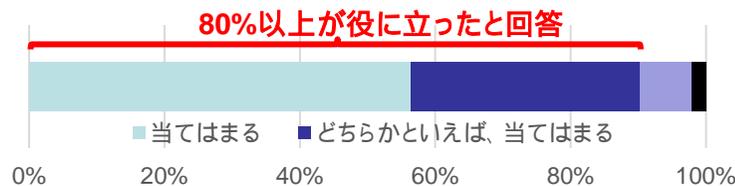
令和5年度全地方運輸局(11機関)事業実施
(令和6年度実績は現在集計中)

事業名	実施件数
インターンシップ	39
海技者セミナー	7
就職セミナー	13
進路段階等事業等	12
理解醸成段階等事業等	63
教育関係者・保護者への認知度向上	9
計	143

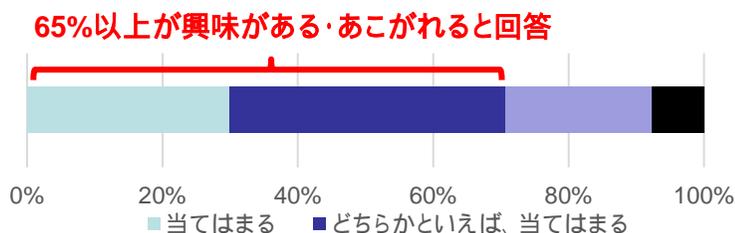
参加者：小学生、中学生、高校生、教員、保護者等

海洋教育に関する事業実施後の小・中学生のアンケートより

Q. 今回の学習が役に立ったか？



Q. 海の仕事に対して興味やあこがれは？



本事業が好評であり、児童生徒にとって見識を広げるよい機会になっている。海事産業を就職先として選択する子どもを増やすため、段階に応じた取組の継続が重要。

海洋教育お役立ちガイドブックの作成・配布

現場の先生方に海事関係団体の取組みについてPRするため、海事関係団体の取組みについて取りまとめた「海洋教育お役立ちガイドブック」を作成し、「キャリア教育・進路指導担当指導主事連絡協議会」（令和7年5月15日開催）にて配布



取組み別にまとめ、先生方がすぐに連絡できるよう各団体への連絡先についても記載

コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動に係る協力団体等リストへの掲載

- ・文部科学省では、保護者や地域住民等が学校運営に参画する「コミュニティ・スクール」と、地域住民等の参画により地域と学校が連携・協働する「地域学校協働活動」の一体的な取組を推進している。
- ・コミュニティ・スクール等の仕組みを活用した関係団体・関係者との更なる連携促進、互恵的関係の構築・深化に向けて広く周知を図ることができるよう、趣旨に賛同・協力する関係団体等のリストに「海事分野」を掲載（令和6年5月）

コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動に係る協力団体等リスト	
実施年度（令和6年5月時点）	
（全国分野） <ul style="list-style-type: none"> 一般社団法人全国銀行協会 一般社団法人福祉協会 一般社団法人全国地方銀行協会 一般社団法人第二地方銀行協会 一般社団法人全国信用金庫協会 一般社団法人全国信用組合中央協会 一般社団法人生命保険協会 一般社団法人日本損害保険協会 日本証券業協会 （船舶に関する関係団体、リソース向け等） 	（社会福祉・労働分野） <ul style="list-style-type: none"> 一般社団法人生涯活躍のまち推進協議会 全国良生活改善推進員協議会（一般社団法人日本良生活協会） （食育の推進、連携関係の定着等） 全国社会福祉協議会 福祉人材の確保、研修、キャリアアップ、福祉教育の推進等） 全国学生生活改善推進員協議会 （生活上の様々な相談窓口を行う厚生委員、児童福祉士の連携） 公益社団法人日本知的障害者福祉協会 （知的障害者の就業、知的障害福祉の普及啓発等） 全国老人クラブ連合会 （子供の食生活、食育、福祉、多世代交流等の連携推進） 一般社団法人ACDC （キャリアコンサルタントによるキャリア教育の推進等）
（児童福祉分野） <ul style="list-style-type: none"> 一般社団法人児童健全育成推進財団 （児童福祉施設関係、児童福祉に関する調査研究等） 全国児童虐待防止推進協議会 （児童虐待に関する調査研究、虐待防止の啓発活動等） 一般社団法人全国子ども虐待防止団体協議会 （DPCと連携、虐待の防止に関する啓発、記録等） 	（経済分野） <ul style="list-style-type: none"> 公益社団法人経済同友会 日本商工会議所 全国中小企業団体中央会 全国工芸協会 （経済界との連携、交流、地域経済の活性化等）
（人材分野） <ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省全国人材確保推進協議会 （保護的研修事業の推進、人材確保の推進等） 全国人材確保推進協議会 （人材に関する相談窓口、人材確保等） 	（自治体関係分野） <ul style="list-style-type: none"> 自治体間連携推進協議会 （自治体間連携の推進、人材確保の推進等）
（国際協力分野） <ul style="list-style-type: none"> 公益社団法人青年海外協力会 （グローバル人材の育成、地域の国際化支援等） 	（海事分野） <ul style="list-style-type: none"> 海事産業人材確保・育成推進協議会 （海事産業に携わる人材の確保、育成等）

海離れが指摘されている子どもや若者を始めとした国民全体に対して、海・船への興味・関心をより一層高めるとともに、海事観光や海洋レジャーの市場拡大していくため、平成29年夏に「C to Seaプロジェクト」を開始。

国土交通省と海事関係26団体が官民一体となった「海事広報活性化協議会」を設立して、海や船に触れる機会の創出と、海事・海洋に関する情報発信を行っている。

国民の海や船への関心を喚起する = 「海ってイイね！」の共感を広げていくことで、海洋教育の推進や海事産業の人材確保等に寄与することを目指す。

本プロジェクトは、国土交通省や日本財団等を中心に産学官民共同で行う「海と日本プロジェクト」の一環です。

【シンボルマーク】



「国民 (Citizen)、子供達 (Children)、文化 (Culture) などの様々な「C」を「Sea (海)」につなげる。

専用ポータルサイト・SNS運用



フォロワー1万人達成!



@c2_sea_project
フォロワー: 約12,503人



@c2.sea.project
フォロワー: 約2,445人



海ココちゃんねる
フォロワー: 約1560人



(R7.4.4現在)

アンバサダーの任命



「C to Seaプロジェクト」アンバサダーとしてSTU48が就任 (2018年2月~)

海事産業の仕事紹介



リアルな海の仕事集「SEA-GOTO」全国の公立中学校に1万部配布

海事観光サイトの新設



「船に乗りたい」、「海で遊びたい」など「やりたい!」ことから探す「海の旅」サイト

マリナクティビティ啓蒙



マリナ体験紹介冊子「umiasoBe」誰でも気軽に「海遊び」を楽しむ方法を紹介

民間事業者の賛同企画



若者向けマリナレジャー・船旅需要喚起のためのサービス「マジ部」(19~22歳無料体験) (主催: (株)リクルート)



御船印めぐりプロジェクト ((一社)日本旅客船協会 公認プロジェクト) (主催: 御船印めぐりプロジェクト事務局)

- 1 海ココチャンネルにて、STU48（内海里音さん、高雄さやかさん）出演の船旅動画と船員の仕事体験動画を制作。2つの動画どちらも1万回再生突破し、船旅の魅力や船員の仕事について多くの人に伝わる動画になった。
- 1 政府広報も活用し、海や船の魅力をも国民に伝えている。

フェリー【さんふらわあ くれない】に乗ってみた！
STU48内海里音・高雄さやかが船旅の魅力レポート！（2.3万回再生）



【責任重大！】STU48の2人が船員の仕事に挑戦！
操舵号令？レットライン？船員の仕事とその魅力に迫る！（1.3万回再生）



～ 政府広報の活用（R6年度）

読売中高生新聞 R6.7.26

政府広報オンライン R6.7.12



「海の日記念行事2024」 (総合海洋政策本部、国土交通省、日本財団の共催)

セレモニー・体験型イベント

日時：令和6年7月15日(月・祝) 10:00～17:00
場所：東京国際クルーズターミナル

- オープニングセレモニー 10:15～10:35
 - ・海大臣開会挨拶、
 - ・総理大臣ビデオメッセージ
 - ・国交省大臣挨拶
- 協賛団体・国・独法等各種海関係機関による展示ブース
- 海上自衛隊東京音楽隊及び海上保安庁音楽隊による演奏会
- (公社)日本海洋少年団連盟による手旗信号
- 体験乗船

等



概要

平成7年の「海の日」祝日化から実施。
このときは「海の日」が7月20日。

例年は「海の日行事」海と日本プロジェクト”
として7月第3月曜日(海の日)に、「総合開会式」、
「体験型イベント」を晴海埠頭で実施していた。

令和2～4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染
拡大状況を鑑み、自宅にいながら海の魅力や海事産業
を楽しく知っていただくためのオンラインイベント
「海の日プロジェクト」を開催。令和5年度に体験型
イベントを再開した。

令和6年度は、7月15日(月・祝)の「海の日」に東京
国際クルーズターミナル(東京都江東区)及び有明多
目的埠頭において「海の日記念行事2024」を開催した。

海の日特設サイトの設置

日程：令和6年7月1～30日

- 海の日を意義を広めるためのページ
- SNS企画・海の日動画の紹介
- 子供向けページ

等

2024海の日特設サイト



広報

- ポスター・デジタルサイネージ...私鉄各社の駅構内で貼り出し
- チラシ...関連施設への発送、新聞折込等の活用
- SNSフィード広告の出稿
- SNSによる情報発信

等



海事局はC to Seaプロジェクトの一環として、9月26～29日に行われたツーリズムEXPOジャパン2024に旅客船事業者等と共同で『海事観光プロモーションブース』を出展

累計182,934人（速報値）の方が会場の東京ビッグサイトに来場。併せて国会議員も来場。

ブース内のミニステージにおいて、海事観光の魅力や楽しさを紹介。ペア乗船券等をプレゼントする抽選会を実施する等ブースを盛り上げた。



名称  ツーリズムEXPOジャパン

開催日 2024年9月26日（木）～29日（日）
26・27日：業界・プレス向け、
28・29日：一般来場者向け展示会（BtoC）

会場 東京ビッグサイト
主催者 (公社)日本観光振興協会、(一社)日本旅行業協会(JATA)、
日本政府観光局(JNTO)

今年度は愛知・中部北陸で開催予定！



ブース正面



出展の様子



ミニステージ



出展者（12）

国土交通省海事局（C to Sea プロジェクト）、内閣府総合海洋政策推進事務局、東海汽船（株）、（株）名門大洋フェリー、阪九フェリー（株）、瀬戸内海汽船（株）、西日本旅客鉄道（株）、SHKライングループ、熊本フェリー（株）、宮崎カーフェリー（株）、マルエーフェリー（株）、マリックスライン（株）